



馬房で穏やかな表情を見せるサムシングスイート

小島友実の あの馬の STORY



サムシングスイート

今回ご紹介するのは伊藤大士調教師が管理しているサムシングスイートです。母はかつてグリーンファームに所属し、府中牝馬Sで着々と活躍したサムシングヤスト。伊藤調教師は生まれたばかりのサムシングスイートを見ており、1歳募集時の際、「とてもハインツの良い馬だと感じました。すぐに河野社長にお電話したのを覚えています」コメントしていました。デビュー戦は昨年11月24日の福島芝1800m。追い込んだ3着でした。「スタートがややもたつきましたが、横山武史騎手がガリバリしてくれて、能力だけで3着まで持ってくれました。トビが大きく、やはり本質的に広いコースの方が合う印象でした」

新馬戦を叩いた事で「調教の動きは惚れ惚れするくらいに師が評価するような変化を見せたサムシングスイートは12月21日の中山芝1800m戦へ向かいますが、結果は5着でした。」「この時は重馬場だったし、先に動いた馬はみな止まっていたから、展開も向かなかったですね」

年明けは1月17日の中山芝2000m戦から始動。2着と善戦しました。「この時はコースで内側が有利でしたし、流れを考えると並みの馬では外から差して来られない展開でした。改めて、能力を感じましたね」

次は2月15日の東京芝1800m戦へ。この時からメンツを着用しています。「普段は人間に従順なタイプですが、レースに行くとき気持ちが入る。だからレースでは基本的に先出しなんです。4戦目は後ろからになり、あの位置からでは

厳しいかな(結果は2着)。東京の広い馬場ならチャンスと思っていただけに、申し訳ない気持ちでした」

レース後の疲れがなかったこの事で厩舎にて調整し、続戦。5戦目となった3月7日の中山芝2000mで嬉しい初勝利をマークしました。

「岩田望来騎手はテン乗りでしたが、楽に良いポジションを取り、抜け出しました。この馬はずっと水っぽいと言った、太いなと思っていたのですが、実はこの5戦目のパドックで、やっと牝馬らしい体になったと感じました。一緒に見ていた調教師に『今日は負けないぞ』と言ったくらいです。期待の高い馬ですから、やっと勝つ事ができて、ホッとしました」

さらに、師は話を続けます。「勝てたのはこの馬の能力だろうし、持っているタミナもあつたと思う。この子は昨年9月下旬から戦目を勝つまで一度も放牧に出ず、厩舎にいたんですよ。普通はこんなに使い込めないですよ。この間、一度も獣医師に力かかっているのでもないと思います。ずっと厩舎にいての勝利でしたから、厩舎スタッフ含めてとてもやり甲斐を感じました」

初勝利後はさすがに疲れが出たため、チャンピオンヒルズへ放牧。4月9日、美浦トレセンで帰厩したサムシングスイートに会えました。デビュー前から担当する渡辺賢一厩務員「重賞勝ち馬の士やんも担当」に聞きました。

「競馬場に行くときスイッチが入る面がありますが、馬房では穏やか。手がかりません。飼料食いはとても良好。2つある水桶の一つに乾草を入れてから食べるのがルーティンだね」

ちなみに、もう一つの水桶はきれいな状態のままだにしているそう。使い分けているのですね。頭の良さを感じます。なお渡辺厩務員は「サムシング」か「スイート」、伊藤調教師は「サム」と呼び事が多いですね。

師は現状をどう見ているのでしょうか。「長所はタミナと体力がある事です。ね。また、走りに対して素直です。今後スタートの一步目や勝負所で小脚が使えるような機動力が出てくると思います。ね。あとほっとももう少し成長してほしい。現状では芝の2000m前後がベストだと思います」

今後についても伺いました。「次は1000mへ向かいます。挑戦だけは終わらせないですね。デビュー前から目指していたオークス、秋華賞。そこが難しいとしても来年、再来年のエリザベス女王杯を目指したいです。まだ隠している能力や成長の余地はあると思います。会員の皆さんには長い目で見ていただいて、その中で楽しんでほしいですね」

みんな大きな舞台へ行きたいですね」放牧先としてチャンピオンヒルズを利用する理由は「母のサムシングヤストも担当していた小泉厩舎長がいる事で、トビの大きなサムシングスイートがストライクを自由に伸ばせるコースがあるから」。さらには小泉厩舎長と渡辺厩務員はかつて同じ牧場で働いていたというつながりもあつたそうです。そういう縁を大切に、姿勢はここから実を結ぶと思います。今後の活躍を期待したいですね。

(取材：4月9日)

profile

競馬キャスター&ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマホアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2024年「馬場のすべて教えます2(主婦の友社刊)」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。